

みなさんの身近に役立つ日本共産党

市民の大切な足 シャトルバスの充実を

川越シャトルは、公共交通機関が利用しづらい地域から駅や公共施設などを結ぶ市民の大切な移動手段として利用されています。

平成7年の運行開始以来、地元要求を取り入れながら、平成12年度には東西南北の4コース・23系統まで拡大してきました。



一方、長距離のため利便性が低下したり、利用者数が頭打ちになるなどの問題から平成18年度に路線の見直しを行い、平成20年度では約25%増の36万6千人余りが利用しています。

利用しやすいよう改善を

他の公共機関などの情報とあわせて分かりやすく情報提供してはどうかと提案すると、市は利用機会を増やすため、公民館や出張所の窓口などで、さまざまな交通手段を組み合わせた目的地までのルート案内の配布など、利用促進の施策を検討すると答えました。

オンデマンドバス導入は

他の自治体などで始まっているオンデマンドバスは、利用者の要求に合わせ停留所を回るものですが、導入できないか問題点や課題を検討してはどうか提案しました。

御伊勢塚公園修景池に 噴水が整備されました

「池の水が赤くなる」などの地域のみなさんからの声を元に、水質改善のために市議会で提案した、御伊勢塚公園の修景池への噴水設置が実現しました。

2基の噴水と、5基の水流発生機により、池の水に流れをつくり赤潮を抑制するものです。



生活相談からの「ママ

相変わらず、生活相談に来られる方が後をたちません。その内容もますます深刻さを増しています。暮らしていけないと生活保護を受ける方のなかには、「元気で働ける。仕事があれば生活保護でなく働きたい」という方がたくさんいます。能力も意欲もあるのに働けない。何十社あっても仕事が見つからない、と自信を失いかけています。かけ言葉が見つかりません。みんなが元気に働けるように、雇用や産業振興の思い切った施策に取り組む必要を感じます。議会でも繰り返し取り上げて、生活保護の対応や雇用の施策も少しずつですが前進しています。困ったことは気軽に相談を。



みなさん

こんにちは

過ぎしやすく、さわやかな季節になりました。新年度も、新しい環境になった方も多いと思います。せっかくの季節ですが、今年は寒暖の差が激しい日が続いています。体調を崩したりしていませんか？

資源化センターオープン

万全の体制でスタートを

4月から資源化センターが本格稼働します。今議会でも、資源化センター稼働にも多いと思います。せつかつてもなう問題点などをとりあげ、危機管理体制がどうなっているのかなどをただしました。

危険性認識し管理を

焼却施設（熱回収施設）のガス化溶融路の問題点のごみの前処理が必要で、同じ形式ではスラグ排出口でのつまるなどの事例があったが、他の自治体へ職員を派遣するなどしてトラブルに対応が行われている。炉の保証期間が切れる前に、市と第三者機関で保証切れ検査を実施し、検査で不具



リサイクルやごみ減量の効果を体感！



リサイクルプラザ「つばさ館」内部の展示の様子。見て触れて学べます。

**日本共産党
市議会議員**

市政・生活相談

自宅 川越市小堤306-5 / 電話 090-7808-9234 / FAX 020-4669-8696

発行 日本共産党議員団 / 連絡先 川越市役所 日本共産党議員団控室
電話 224-8811 (内線3636) / ホームページ <http://www.jcp-kawagoe.jp/>

かきた有一

～お気軽にご相談下さい～

議会報告
2010年 No.2